大学院特別講義

（医歯学先端研究特論）（生命理工学先端研究特論）
（医歯理工学先端研究特論）

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1．講　師　　金沢大学　がん進展制御研究所
腫瘍遺伝学研究分野
准教授　大島　浩子　先生

2．演　題　　消化器がんの発生・進展と微小環境

3．日　時　　2026年12月21日（月）18：00～20：00

4．場　所　　M&D タワー13 階　大学院講義室2

5．要　旨

がんの発生・悪性化は、がん細胞に生じる遺伝子異常だけでなく、周囲の間質細胞や細胞外基質との相互作用に大きく影響される。本講義では、遺伝子改変マウスやオルガノイドを用いた胃がん・胆管がん研究を紹介する。胃がんでは、リガンド依存的な Wnt シグナルが TGFβ シグナルと協調し、肝臓の間質におけるヒアルロン酸蓄積を促進して転移ニッチを形成する機構を紹介する。一方、胆管がんでは、ドライバー遺伝子変異に加えて COX-2 依存的炎症シグナルが腫瘍形成を誘導することをマウスモデルで示し、腫瘍形成における CAF の関与について腫瘍-on-chip デバイスを用いた相互作用研究を紹介する。これらの知見を通じ、微小環境を標的とした新たな治療戦略の可能性を考察する。

連絡先：　高橋　和樹　（病態生化学分野　内線 5449）